



小泉純一郎元総理講演会

緑と水の郷・山陰で語る

日本の歩むべき道

原発ゼロ・自然エネルギー活用の未来

2019.2.16

島根県民会館

小泉純一郎氏講演会

原発ゼロ・自然エネルギー活用
の未来

日本の歩むべき道

緑と水の郷・山陰で語る



元総理大臣、原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟顧問

会場 島根県民会館 大ホール 定員 1,500名

開場 12:20

講演 13:00

手話通訳・要約筆記あり
託児あり(205号室)



2019年 2/16(土)

主催 小泉純一郎氏講演会山陰実行委員会

参加費 500円

中学生以下・介助者1名 無料
前売券あり・当日参加も可

申し込みは0才~6才まで10日前までに申し込み
(090-3889-3519 山崎)

チケット取り扱い/松江：県民会館・プラパホール・今井書店(学園通り店・田和山センター店) / 米子：本の学校今井ブックセンター・ビッグシップ・米子市公会堂 / 出雲：今井書店出雲店・ビッグハート出雲・ラピタ本店 / 安来：アルテピア / 雲南：チェリパホール

【共同代表】飯塚大幸(一畑業師管長)、河本六美(米子市連合婦人会会長)北川 泉(島根大学元学長)
小松昭夫(一般財団法人 人間自然科学研究所理事長)、花柳萌淡(日本舞踊花柳流師範)
【呼びかけ人】小原あけみ(グリーンコープ生活協同組合とっとり理事長)、勝部寛信(元島根県立高等学校校長)
金森美智子(斐川生協病院院長)、津田信儀(元島根県高等学校教職員組合委員長)、矢田辰夫(知夫村元村長)
吉田由佳(グリーンコープ生活協同組合《島根》理事長)、安田寿朗弁護士
長谷川 稔(元倉吉市市長・鳥取県議会議員)、岡崎由美子弁護士(日本弁護士連合会副会長)
【問合せ先】実行委員会事務局：島根原発・エネルギー問題県民連絡会(連絡先：0852-22-7316)



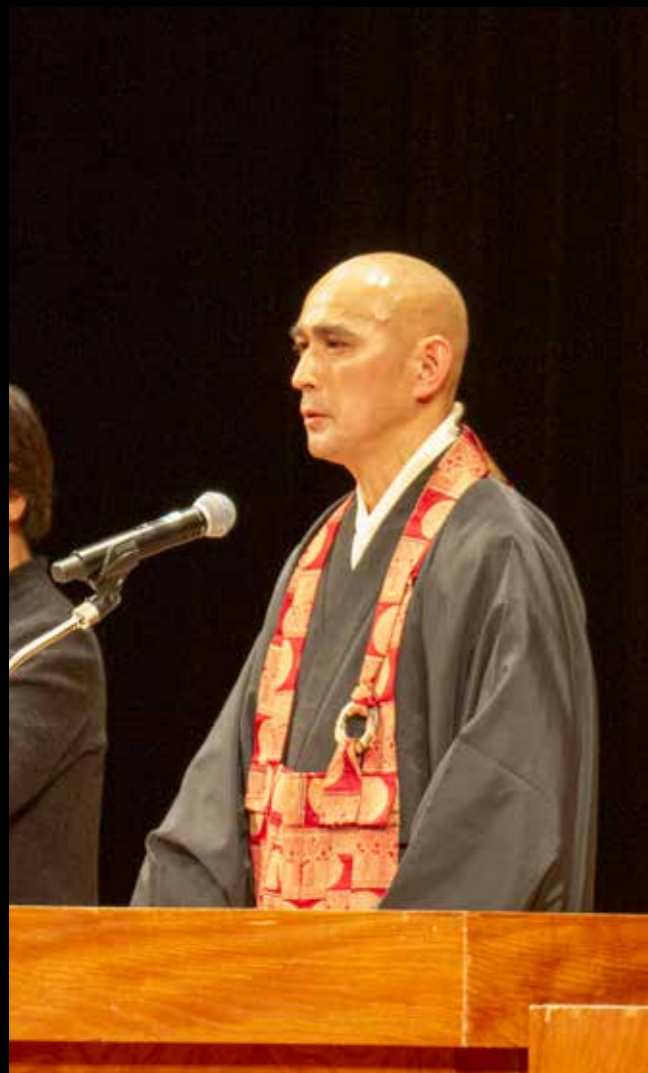






実行委員会共同代表 一畑薬師管長 飯塚大幸 挨拶

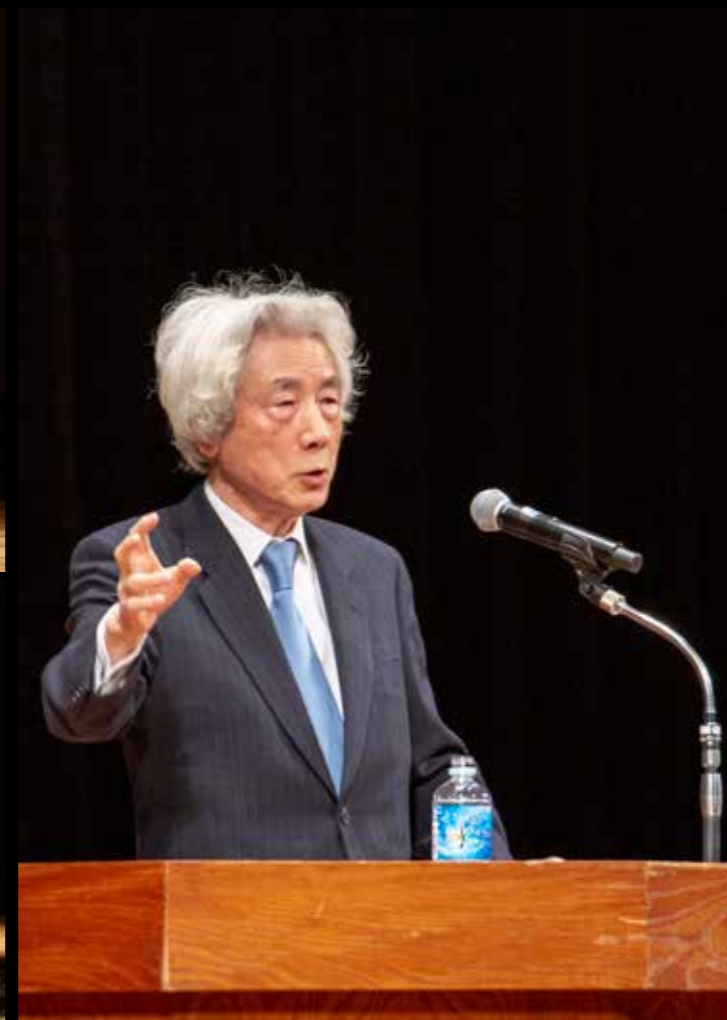
元内閣総理大臣 原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟顧問 小泉純一郎 講演







小泉純一郎元総理の講話に応える大ホールの拍手



大ホール2階席から小泉純一郎元総理の講話を聴講する方々



実行委員会共同代表 人間自然科学研究所・小松電機産業代表 小松昭夫 書籍贈呈



東京オペラ協会代表 石多エドワード 書籍贈呈



実行委員会共同代表 日本舞踊花柳流師範 花柳萌淡 花束贈呈



第2会場 2F多目的ホール



元静岡県湖西市市長 原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟幹事 脱原発をめざす首長会議世話人 三上元 講話



実行委員会事務局長 島根大学名誉教授 保母武彦 挨拶



第2会場 2F多目的ホール



第3会場 3F大会議室



大ホールステージ裏



脱原発 政府主導で 小泉元首相が訴え

松江 講演に2100人



ルギーへの転換を政府主導で進めるべきだと訴えた。小泉氏は、2011年3月の東京電力福島第1原発事故後に全原発が停止して深刻な電力不足に陥らなかったとして、「原発ゼロで暮らせることは証明された。なぜ原発にこだわるのか」と主張。原発から出る高レベル放射性廃棄物（核のごみ）の最終処分地が決まっていないことにも触れ、「与野党が協力し、原発をやめよう」と立ち上がるべきだ」と呼び掛けた。さらに、政府がエネルギー基本計画で、30年度の電源構成比率のうち原発の割合を20〜22%にする目標を掲げていることを疑問視した上で、「日本は自然資源に恵まれていて、政府が首領を取れば、10年足らずで自然エネルギーの電源構成比率を30%にできる」と強調した。

小泉純一郎元首相が16日、松江市内で講演し、脱原発と太陽光など自然エネルギーの割合を20〜22%にする目標を

小泉氏は09年の政界引退後、福島事故を契機に原発推進から脱原発に転じた。講演は、中国電力島根原発（松江市鹿島町片匂）の稼働に反対する市民団体「島根原発・エネルギー問題県民連絡会」などで行われる実行委員会が主催。約2100人が聴いた。（平井優香）

山陰中央新報 2019年2月17日掲載



「原発ゼロ」を訴える小泉氏=16日、松江市殿町の島根県民会館

「自然エネの時代だ」

小泉元首相が原発ゼロ講演 松江

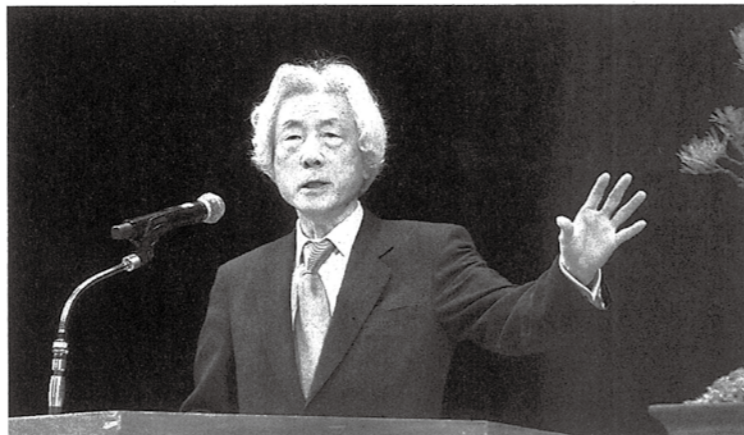
「原発ゼロ社会の実現」を訴えて全国行脚している小泉純一郎元首相の講演会（実行委員会主催）が16日、松江市内で開かれた。福島第1原発事故を教訓に、原発から自然エネルギーへの転換という実現可能で国民みんなが

主張していた「原発は安全、低コスト、クリーン」は全てうそだとして、首相時代の原発推進の考えを改め、脱原発を訴えている。講演では、福島第1原発事故前に全エネルギーの2%だった自然エネルギーが18年は15%になったと紹介。「日本は太陽光、風力、地熱と自然エネルギーに恵まれている。国が後押しすれば、国のエネルギー計画の30年の原発依存20〜22%は自然エネルギーに換えられる」と述べた。原発について、核燃料サイクル事業の破綻や核のごみの最終処分場のめどが立たない問題点などを指摘。「原発に頼らず自然エネルギーで経済発展する時代」と結んだ。実行委事務局長の保母武彦島根大名誉教授は「改革を超え、保守政権の中心にいた人が原発ゼロを訴えた話は重い」と話した。（酒井建治）

日本海新聞 2019年2月17日掲載

「原発事故 国なくなる危険」

小泉元首相 松江で講演



熱弁をふるう小泉純一郎氏＝松江市殿町

「原発ゼロ」を訴える小泉純一郎元首相(77)が16日、松江市殿町の県民会館で講演した。原発のリスクと再生可能エネルギーの可能性などを約1時間半にわたって熱弁。「政党は関係ない。右も左もない。近々、全政党が原発をやめようという時代が来ると思っている」と訴えた。

市民団体「島根原発・エネルギー問題県民連絡会」(事務局長・保母武彦島根大名普教授)などでつくる実行委が主催。主会場の大ホール(約1700人)は満員になり、別会場ともライブ中継をつないだ。同団体によると、来場者は約2100人という。首相時代に原発推進の立

場だった小泉氏は、福島第一原発事故を機に考えが変わったと説明。「あなたはぶれない総理だと言われたが、ぶれた。でもいい方向にならないじゃない」と笑いも誘った。小泉氏は、福島の原発事故では最悪の場合、東京まで含んだ、原発から半径250キロ圏内の人が避難しなければならなかったとし、「原発は単なる事故に終わらず、国がなくなるような危険性を持っている」と指摘。事故後に全国の原

発が停止したまま生活できたことや、太陽光発電などの再生可能エネルギーの供給量の増加を挙げ、「原発に頼らず、新エネルギーでやっていく。そうなることを期待しながらあきらめずやっていく」と話した。雲南市大東町から友人2人と来た小山賢子さん(83)は「(小泉さんは)首相時代と、がらっと考えが変わったことが分かった。話はとても分かりやすく、自分たちも何かできる気がした」と話した。(市野塊)

小泉氏「自然エネルギー転換を」

小泉純一郎・元首相が16日、松江市の県民会館で講演を行った。脱原発の持論を展開し、約2100人が聞き入った。島根原発・エネルギー問題県民連絡会などでつくる実行委員会が主催。会場の大ホールに入りきらず、別室のモニターで講演を聞く来場者もいた。講演で、小泉元首相は「日本の原発は安全だと言われていたが、東日本大震災(による原発事故)でおかしいと思う、原発の本を読み始めた」と現在の持論に至った経緯を説明。「原発ゼロで、自然エネルギーへの転換ができる時代にきている。与野党が協力できる素地があるのに、なぜ政府は(脱原発に)立ち上がらないのか」と訴えた。福島第一原発事故後、国の方針で脱原発を掲げ、自然エネルギーで3割超の電力を供給するドイツを例に挙げ、「日本は太陽光や風力などに恵まれている。(日本の電源構成で原発が占めていた)30%(を自然エネルギーに変えること)なんて10

松江 脱原発で持論

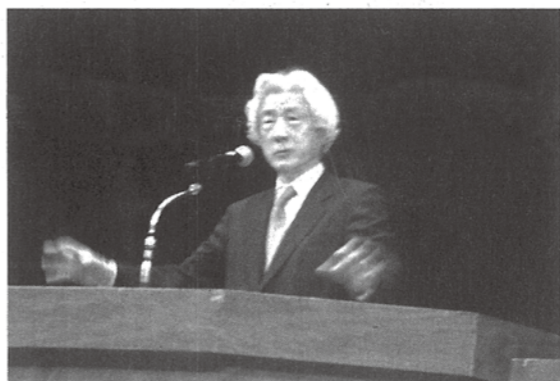


熱弁をふるう小泉元首相(松江市で)

読売新聞 2019年2月17日掲載

原発ゼロでやっていける

小泉元首相、松江で講演



原発ゼロを訴える小泉元首相＝16日、松江市殿町の県民会館

松江市殿町の県民会館で16日、小泉純一郎元首相が「緑と水の郷・山陰で語る日本の歩むべき道」と題して講演し、原発ゼロと自然エネルギーの活用を訴えた。同講演会実行委員会の主催。首相在任中は原発推進派だったが、2011年の東京電力福島第一原発事故を契機に勉強し直し考えが変わったという小泉元首相。推進派の主張してきた「安全性」を「いつまた地震、津波がくるかわからない」と否定し、「コストの安さ」と「グリーンエネルギー」の2点も、廃炉や除染にかかる費用と、放射性廃棄物処理の面から否定。国すべての原発が停止していた13年9月から15年9月までの2年間、一度も停電が起

こらなかつたことが、原発ゼロでやっていける証明だとし、「まだ」だわって動かさずとしている。呆れるしかない」と語った。その上で、全発電量に占める太陽光発電などの自然エネルギーの割合が、福島第一原発事故以前は2%だったのに対し、現在は15%

に達したと指摘。「政府が音頭をとって『自然エネルギーに切り替えよう』と言えば、原発が提供していた30%分のエネルギーなんて10年かからない」と主張した。同講演会は事前に当日券の発行中止が決まるとの反応が大きく、定員1500人を大きく上回る約2100人が訪れ、立ち見や、館内に設けられたライブ中継会場で講演を聞く人も少なくなかった。同講演会実行委員会事務局長で島根大学名誉教授の保母武彦さんは「会場も非常に静かで、しかも反応すべきところは反応する、一つの心に通いあったような大講演会だったと感じる」と話していた。

島根日日新聞 2019年2月17日掲載

元湖西市長の三上元氏の講話を聞き共感された、開演前の動画で紹介した広島被爆石の石碑をオーストリア・ウィーンに建立されたイップ常子氏よりメール

受信日時：2019年2月19日 0時38分



小松社長様、小林様

素晴らしい写真集と動画を拝見させていただきました。動画の中で社長様、小林様のお姿を拝見でき、とても身近にまるで私もそこにいるかのような気になりました。

特に動画の中でオーストリアの原子力発電所は完成したものの一度も稼働されることはなく、現在は博物館となっていますと講演の中で拝聴し、とても嬉しく思いました。やはり松江とウィーンもどことなく共通点があるかのように思えます。

次回はぜひその原子力発電所をご案内致したいと思います。我が家から車で1時間の所です。

ハプスブルグ帝国が最も繁栄したのはマキシミリアン1世時代の政略結婚からと言われています。今年は彼の没後500年で、2月23日にはウィーン工芸館で彼にまつわるお話をいたします。これはウィーン在住の日本の方々を対象にご案内致します。

マキシミリアン1世の父親は謎めいた格言 AEIOU をさまざまな所に記していますが、それはラテン語で、直訳すれば、「世界は全てオーストリアに従う」「オーストリアは滅びず」「オーストリアは全世界を支配せん」などと言う意味などが含まれているそうです。

この格言も小松社長様をまるでたとえたように「島根県は全て小松社長様に従う」と言った共通点が伺える感じです。

2000人以上の講演会とは本当に素晴らしい企画を実行されましたね。ご成功を心より申し上げます。

所で現在9月5日から9月11日8日間のブダペストとウィーン、ザルツブルグを企画中です。完成しましたら送付致しますので、ぜひご参加してくださいね。これは広島ーオーストリア協会主催で、今年は広島被爆石が、世界平和モニュメントとして、ウィーンに寄贈されてちょうど10周年を迎えます。また今年は日唄修好150周年の年でもあります。

それで安倍首相との会談後、2月16日にはオーストリア首相もわざわざ広島まで足を運ばれたのです。2月20日はトランプ大統領との首脳会談でアメリカに発たれました。

またビッグニュースを楽しみにしております。

Ipp 常子

参考資料

ツヴェンテンドルフ原子力発電所 (オーストリア)

出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



ツヴェンテンドルフ原子力発電所(ドイツ語: Kernkraftwerk Zwentendorf)はオーストリアで最初に建設された原子力発電所。ニーダーエスターライヒ州ツヴェンテンドルフ(英語版)で建設が始まり、原発は完成したものの、運用されることはなかった。

概要

1972年の4月に建設が開始され、692MWの発電量の沸騰水型原子炉を建設することとなった。これは幾つかのオーストリア電力公益企業の共同企業体によって、当初計画されていた6ヶ所の原発の最初の一つとして建設が始まった。当初コストはおおよそ140億オーストリア・シリングで、現在価格ではおおよそ10億ユーロとされる。喚起煙突は110mの高さを誇った。

しかし、ツヴェンテンドルフの運用開始や他の5個の原発の建設は1978年11月5日に投票(英語版)によって中止された。この投票では50.47%がツヴェンテンドルフの立ち上げ反対に投票した。また、1987年にオーストリアは発電のための核分裂炉を禁止する法を制定し、以降これを保持している。

現在発電所は一部解体されている。発電所はオーストリアのEVNグループ(英語版)が保有しており、太陽光発電所や教育施設として使われている。ツヴェンテンドルフ原発の代替としてデュルンロア火力発電所(英語版)が建設された。1978年の投票の後、電力生産目的で立てられた、運用された原子炉は存在しない。しかしながら1960年代以降、科学目的の3基の小型原子炉が建設され利用されており、現在も1機は稼働している。



原子炉圧力容器底部のコントロールメカニズム



上部からみた圧力容器



低圧タービン



運転室の制御パネル

その他 参考写真 ウィーンからブラチスラヴァへの移動中に見える風車が並ぶ風景(撮影2014年6月)



近藤宏樹市長(左)に像の完成を報告する関係者たち。安来市安来町、市役所



故キリノ大統領の家族をモチーフにした「平和への祈り」シリーズ3人の愛児たち



「赦し難きを許す」というシニア夫人の周りを2人の子どもが舞う光景を表し、優しく慈愛に満ちた作品に仕上げた。

「赦し難きを許す」というシニア夫人の周りを2人の子どもが舞う光景を表し、優しく慈愛に満ちた作品に仕上げた。加納美術館は同じモチーフの作品を所蔵しており、キリノ家に贈呈したいと作業者の安部さんに相談。安部さんは新たな像の制作を提案し、4カ月余りかけて完成させた。15、24日に加納美術館で特別展示した後、フィリピンに空輸する。

キリノ家の「多くの子どもたちに見てもいい、世界平和と日比友好につながった。赤ちゃんを抱いたアリエー」との意向を受け、像は

「赦し難きを許す」というシニア夫人の周りを2人の子どもが舞う光景を表し、優しく慈愛に満ちた作品に仕上げた。

「赦し難きを許す」というシニア夫人の周りを2人の子どもが舞う光景を表し、優しく慈愛に満ちた作品に仕上げた。



加納美術館訪問
2019年2月15日

平和願う像フィリピンへ

安来・加納美術 振興財団制作 3月から現地で展示

フィリピンの日本人戦犯105人に恩赦を与えた故キリノ大統領の家族をモチーフにした平和を願う像が、同国のモンテンルパ博物館で3月から展示されることになった。加納美術振興財団(安来市広瀬町布部)の加納三郎理事長が制作し、日本兵に殺された大統領の夫人と子ども3人を悼み、天使になった姿を表現。関係者は日比友好とともに、キリノ大統領が示した

山陰総合 sanin

参考資料

加納 莞菴 (本名:辰夫) (かのう かんらい)

出典:加納美術館ホームページ



嘆願書

閣下

第一嘆願書を奉呈して以来200日の間、日本人であるが故に負わなければならない戦争の極悪と罪の意識を反省してまいりました。厳粛な罪の意識と神への深い信念の履行から、裁きの前における己を認識いたしました。そして「肉体で生きている生活は、神の子としての信念での生活である」ということを悟りました。「許し難きを許す」という奇跡によってのみ人類に恒久の平和をもたらす、「目には目を」ということでは決して達成し得ないということ、これまで以上に強く感ずる次第であります。

閣下

閣下の手から残虐にも奪い取られた愛児の名において一許し難きを許す—この奇跡が現れることを待ち望むところであります。何人といえども閣下の胸中に過ぎる悲しみと、怒りと、憎しみの深さを量ることはできないでしょう。私が新たに抱くに到った信念によれば、キリストの如く十字架にかけられ異教徒や不信心者をキリストの御足のもとに寄せ、「主」に感謝し賞賛せしめる慈悲の偉大なる奇跡を顕現させるために努力しているのは、天国にいます閣下の愛児たちであります。

この崇高なる奇跡の成就のあかつきには、神にささげられた閣下の愛児の姿を救いの天使として画布の上に不朽にとどめたい所存であります。それこそ貴国とわが国との友好と平和を生み出す最良の貢献でありましょう。

私は自ら嘆願することによって共に裁かれ、神の許しを請う立場にあります。この苦行には絵を描くことは出来ません。全戦犯が古瀬と共に許され復活したその日に新しい画家として出発する決意であります。(1949年10月 第4書簡より抜粋)

1949年 10月 加納辰夫

キリノ大統領声明

私はフィリピンに服役中の日本人戦犯にフィリピン国会の賛同を必要とする大赦ではない赦免を及ぼした。私は妻と三人の子供とその他五人の家族を日本人に殺されたため、彼等を救おうとはよもや思ってもみなかった。私は私の子供や国民が、やがてはわが国の恒久の利益の友となるかもしれない国民に、私から憎悪を受けつがしめないことを欲するが故に、これを行なうのである。結局、運命が私達を隣人となさしめた。(これはキリノ大統領がそのとき発した声明の一部である。)

1953年(昭和28年)7月6日 フィリピン大統領エルビディディオ・キリノはモンテンルパにあるニュービリビット刑務所に服役していた日本人戦犯105名の釈放または減刑を通告したとき、入院していた。このステートメントはアメリカ、メリーランドのボルチモアにあるジョン・ホプキンス病院の病床からとマニラの大統領府からと、同時に世界に公表されたものである。



QRコードをスマートフォンまたはタブレットのカメラで読み取り動画をご覧いただけます

講演会ダイジェスト動画
(映像時間：14分)



開演前動画
(映像時間：35分)



一般財団法人

人間自然科学研究所

<https://www.hns.gr.jp/>

〒690-0046 鳥根県松江市乃木福富町 735-188
TEL: 050-3161-2490 FAX: 050-3161-3846

無断転載禁止

No reproduction or
replication without written
permission.

ver.20190220 y.kobayashi